

【研究ノート】

**言葉の探求
ショート・チョットの笑劇場 ①**

増 田 辰 良

研究ノート

言葉の探求

シヨート・チョット的笑劇場

①

増田辰良

目次

はじめに

シヨート・チョット集 ①

おわりに

参考文献

はじめに

筆者が言葉そのものに強い関心を持ちはじめたのはニュージールランドでの生活体験による。当国では先住民族であるマオイの伝統文化が国に至る所で見られた。道路標識、図書館での書誌の紹介は部分的ではあるが、マオイ語と英語の併記であった。民族独自のテレビ放送局(番組)があり、公的行事においては首相がマオイ語で挨拶(ティナコウトウ・こんにちは)をしていた。満足とは言わないまでも、マオイ民族は十分に尊重されていた。翻って、日本の先住民族であるアイヌ民族に関しては必ずしもこうした位置づけにない。国を代表する者、北海道の歴代首長が公式の場においてアイヌ語で挨拶をする光景すら目にすることがない。せめて、イランカラプテ(こんにちは。あなた

に逢えて良かった)くらいは口にしてもよからうと思う(新聞報道によると、JR北海道が一部の特急列車でアイヌ語による社内放送を始めるそうだ。『朝日新聞』2019年9月12日)。口承であれ、記述されたものであれ、言葉は民族の証である。

帰国後、アイヌ民族についての歴史、逸話、社会的地位の変遷などを調査してきた。そのうち起業家精神、教育については研究論文も公刊した。関心は深まるばかりであった。

当時、中学生の愚息に「小学校や中学校でアイヌ語やアイヌ民族についてなにか勉強したこと、先生に教えられたことがあるか」と尋ねてみた(筆者は本州の生まれ育ちなので、本道での義務教育は受けていない)。「学校ではなにも教えられていないよ。こんなパンフレットをもらっただけだよ」と言っただけで、『アイヌ民族・歴史と現在——未来を共に生きるために——(改訂版)』(財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構、2009年)をくれた。このパンフレットは実によく編集されており、これからアイヌ民族についてなにかを学ぼうとする初心者には最適内容であった。今も、筆者はページを捲ることがある。泣きたいほど残念ではあるが、こんな優良なパンフレットが公教育の現場

キーワード：言葉、シヨート・チョット、笑い(ユーモア)

でさえ有効に活用されないままなのである。

そして今、このパンフレットのサブタイトルの文字に込められたなれども言えない哀歎と希望をひしひしと想う。民族としての誇りや権利を奪われ、差別され続けてきた者たちがその痛みを他者に押し付けられているのではなく、共に生きるために“自分たちの存在を主張している。痛々しいというよりも民族としての強さや寛容力を思わずにはいられない。『生きている言葉』に心が震撼させられた。

生きている言葉を、日本語を、仕事として、もつともつと楽しもう。日本人なのだから。『研究者は他人と違ったことをして褒められることはあっても、叱られることはない。』研究者として求められていることは、自分にしかできないこと、誰にも求められていないことを探求することだ。そんな思いで、小説（奇想、異形、SF、SS）、戯曲、落語、漫才、コントを書いては公表してきた。今回、この紙面を借りてショート・チョットの世界を楽しんでみたい。

ショート・チョット集①

女心

H准教授の専門はモーパッサンの作品群の中にあるユーモアや風刺の根源を探ることである。ゼミナルでは『首かざり』『寶石』を輪読している。8人いるゼミナル生たちも准教授の博識に憧れて、入ってきた。その中でもF子とN子の学習意欲は群を抜いており、准教授も常々、目をかけていた。

「もつと詳しく解説してあげよう」

(11)

土曜日、准教授はF子とN子を地上30階にある自宅マンションへ招待した。

F子とN子は女性2人ということで安心し、また教室外での准教授の素顔を見てみたいという好奇心にもかられ、招待を受け入れた。

夕方、3人で買出しをし、夕食の準備をした。それはまるで大学祭の模擬店を準備しているようで、ワイワイガヤガヤと楽しい作業であった。

こう書く、すでにお気づきのように准教授は花の独身貴族である。夕食後、ソファにN子、F子、准教授の順に座り、おしゃべりを楽しんだ。その間、彼女たちは学生らしく、幾つか質問を投げかけていた。

「先生、モーパッサンの『寶石』に出てくる奥さんですけどお、なぜ本物の宝石を持っていたのですか。ご主人のお給料じゃ、生活するのが精一杯だったですよね」

とF子が聞くと、

「わたしも不思議なのですが、生活が苦しいのに奥さんの趣味は芝居見物でしたよね。とてもそんな余裕はありませんよ。あの夫婦には」と、N子も続けた。

笑みを浮かべ満足気にうんうんと頷いていた准教授は、

「君たちの読書法は正しいですよ。なぜ、という疑問を持つて読むことは想像力を高め、自分が小説を創作するときの力にもなります。モーパッサンは明示していませんが、それなりに複線は張ってあります。それがプロです。宝石好きの可愛らしい妻がどういう手段でそれを手に入れたのか。芝居見物は夜でしたよね。夜の芝居見物とは本当はなんだったのか。夜ほど人格を変えさせるものはない。こう言えば、君たちにも分かるでしょ」

と、口元を少し緩めて彼女たちを見た。

彼女たちは頭にその光景が浮かび、目元に恥じらいの色を帯びた微笑を浮かべ、準教授から目を逸らせた。

「モーパッサンはなにも説明していませんが、またそうしないままでいいのですが、あの作品からは女性のもつ娼婦性、もつと言えば、人間のもつ二面性ともいうか、現実の生活の中にある虚構性ともいうべきものが含まれています。それを読者に感じさせるように描かれているのですよ」

と、諭すよう準教授は続けた。

彼女たちは教室で見せるような納得した表情をした。

それから準教授はモーパッサンの他の幾つかの作品にも同様の手法が使われていることを詳しく解説して聞かせた。が、話疲れ、「もういいだろ」と言って話題を変えた。

今度は、準教授から彼女たちへ学生生活やアルバイト、進路について質問をした。

彼女たちはハキハキと面白可笑しく答えた。そのたびに笑いが起こり戸外の暗さとは裏腹に、部屋では明るい声が飛び交っていた。楽しい時間は、あつという間に過ぎていく。

レースのカーテン越しに見える夜景は準教授にロマンチックなムードを誘ってきた。少しくらいなら許されるだろうと、彼女たちに日本酒とビールを勧めてみた。

「食後のアルコールだから、それほど酔わないよ」

すでに成人である彼女たちも最初は躊躇したが、準教授の口から泉のように湧いて出てくる知識とユーモアのある話題にすっかり心の扉を開錠させてしまっていた。酒量も度を越してしまっていた。ふと、掛け時計を見ると、とつくに終電を過ぎていた。タクシーで帰るとなると、相当な出費となる。アルコール漬けとなった彼女たちの脳ミソ

はもはや正常には機能していない。そんな脳ミソでも「帰宅しなければ」という文字で満杯になっていた。

それを察して、準教授は笑顔をつくり、ことも無げに言った。

「女性が2人いるのだから、今日は泊まっていきなさい。明日は日曜日だぞ」

彼女たちはドロンと濁った目と目を合わせればし逡巡した。

F子が先に口を開いた。

「N子、どうする？」

「うん、ちよつと飲みすぎちゃったしい……」

準教授は追い討ちをかけた。

「だからあ、2人いるんだから、泊まっていきなさいよ。一晩中、だべってあればいいじゃないか。若いんだから徹夜なんてえ、へっちゃらだろ」

この言葉に反応し、彼女たちはまた目と目で話し合った。

「泊まろうかあ」F子がN子に大儀そうな声をかけた。

「そうする？」

これで決まり。

「じゃあ、もう少しワインを飲もう。高級な赤があるんだ」

準教授は立ち上がり、キッチンからボトルとワイングラスを持ってきた。彼女たちは、2口、3口咽喉に流し、呂律の回らない舌でお世辞を口にした。

「これ、飲みやすい」

「さっぱり、してる」

すっかり夜の帳も降り、いつしか3人の声はとだえ、静寂な空気の中にいた。

このとき準教授の酒量が限度を超えていたのかどうかは定かでない。彼はもう一押しで腰骨が触れるくらいF子の体に近づいていた。

F子はソファに浅く尻を乗せ、足を投げ出し、首をソファの背にもたせ、微かに開いた唇をやや天井に向けて目を閉じていた。N子は酔いつぶれたようで、首をうな垂れたまま動かない。眠っているのか？

それを確認すると準教授はニツと口元を歪め、F子の唇へ顔を近づけた。左手はその胸をまさぐっていた。F子の弛んだ口から愉悦の吐息が細く、長く洩れた。

突然、「ギャー！」という悲鳴が空気を切り裂いた。

その声に準教授は腰を浮かせ、大きく飛び離れた。

後日、準教授はセクシャルハラスメント行為をした件で大学当局へ訴えられた。

訴えたのはN子であった。

女心というものは……。

呼び名

新型コロナウイルス感染症って、SARSとかMERSとは呼び名が違うね。

それらよりも、こっぴどく(COVID)人類を痛め付けているからだよ。

責任者出て来い！

SARSだ。MERSだ。横文字ばかりで分からん！

(四)

じゃあ、重症急性呼吸器症候群は？ 中東呼吸器症候群は？
もつと分からん！ その上、新型コロナウイルス感染症はCOVID。
誰だあ(WHO)、こんな名前を付けたのは！

ピッ

— ある女子学生との会話。

教員 Tシャツを買います。1枚1万円のTシャツに25%OFFの値札が付いています。いくら払えばいいですか？

学生 1万円です。

教員 25%OFFだよ？ あつという間に計算できるだろ。

学生 ……。

教員 じゃあ、財布の中にちょうど1万7500円あれば、どうしますか？

学生 はい。1万円札を出します。

教員 そっかあ？ お釣りはいくらもらえばいいのかな？

学生 それはレジでピッってやってくれますから。

こう務員

— 小学1年生と教員との会話。

「お父さんのお仕事は何ですか？」

「はい。よくは知らないのですが、毎朝、決まった時刻に家を出て、夕方、決まった時刻に帰ってきます。たまにはお酒を飲んでくることもあります」

「じゃあ、公務員なのかなあ」

「そうかもしれません。おれたちがいるから市民の利用する施設運営ができるんだって威張ってますから」

「安定した職業ですね」

「はい。とくに上にあがるほど安定感が求められるそうです」

「なるほど。管理職ともなると、意思決定はブレちゃいけないし、デスクワークも増えて足腰に負担がかかりますよね」

「はい。でもお父さん、運動だけは足りているようです。一生懸命、汗を流して働いてますから、顔なんか日焼けして真っ黒ですよ」

償い

T 離婚話はどうなったの？

M うん。調停をしてきたけど、あと1回弁護士に相談するだけになつているよ。

T それですべて片が付くの？

M なんとかね。

T 自分を責めるしかないよ。奥さん以外の女性と遊ぶのは墓穴を掘るだけさ。

M その通り。こんなに深くなるとは思ってもいなかったよ。埋めるのにずい分と出費してしまったよ。

あの世での心配

「おじいさん。今年(2020年)のお盆はどうしますか？」

「ばあさんや。お前も気が早いな。まだ、3月だぞ」

「でも、パンデミックですよ。マスクの用意くらいしておきましょうか」

「そうだな。人ごみさえ避ければ……」

「子や孫に叱られますよ。うつすな……」

「いやいや用心して、帰ってくるな……って言われるかも」

「ソーシャルからフィジカル(ディスタンスング)へと幅も狭くなりましたけど」

浮遊霊

「彼岸というのに、誰もお参りに来ませんね。おじいさん。子や孫たちは……」

「ちょっと、戻って見てみよう」

……

「ばあさんや。大変だ。現世では新型コロナウイルスが流行っているそうさ。パンデミックと呼んでいる。ステイホームとかで家から出ちゃいけないようだ。クラスターから派生して、街は封鎖されてロックダウン、治療はトリライジ……」

「おじいさん。横文字ばかりで、理解できませんよ。そんなことよりも……、あゝあ、寂しい」

今年(2020年)は春から浮遊霊が多い。

印象、悪！

ビッグマウスに反し、安倍のマスクは小さすぎる。

10万円。

ただで貰うのも後が怖い。

三密

壇密が部屋を密閉してファンを密集させて、密接なトークをしてくれるならいいけどねえ。

時流に乗れない神様

「チャリーン！」

「サッカーがうまくなりますように。パチパチ」

「可愛いので。ちっちゃなお手で、50円玉を、ありがとう。練習の成果を後方から応援してあげよう。ファイト！」

「チャリーン！ チャリーン！」

「第一希望の大学へ合格できますように。パーンパーン」

「500円玉を2枚。なんとも心地よい音じゃ。受験生だな。よし、分かった。頑張りなさい。後方から応援するぞ」

「スッ。チャリーン！」

「今年こそ、格好いい恋人ができますように。パーンパーン」

「うん。1000円札と500円玉、すまんのう。なんと聴いてもいい音色じゃ。心が温まる。恋人募集かあ。よしよし、任せておきなさい。イケメンに巡り会えるよう後方から応援してあげるよ。大丈夫だ！」

(六)

「チャリン」

「家族が健康にすごせますように。パーンパーン」

「ああ、いつものお婆ちゃん、去年は1000円札を一枚いただきましたが、今年は5円玉1個です。ご縁がありますように、の5円ですね。分かりましたあ。ご家族のご健康を後方から応援させていただきます」

：

：

「……ここまでで、合計3005円。うーん、少ないの」 おお、お次は？

「留年しないで、進級できて、就職も大企業から内定をもらえて、さらに美人の彼女を見つけることができますように。パチンパチンパチンパチン」

「うーん。就活予定の学生だな。さい銭、無しかい？ いくら拍手を余計に打たれても、無銭じゃ、こつちも商売にやらんよ。聞き入れたくないねえ。ふん」

「入社3年目、給料が高くて、暇な会社へ転職できますように。一生のお願いです」

「さい銭も無ければ、拝礼（二礼二拍手一礼）も無し。このところ、こういう自分本位な若者が増えてきた。嘆かわしい」

「お神様。今年の初詣客数は増えました」

「宮司は恭しく伝えます。」

「うん」

「が、さい銭収入はガタ減りです」

「宮司は収入簿に目を落とします。」

「ガタ減り？」

「はい、階段を一気に3段、落ちたような減り方です」

「参拝者数は増えているのに？ 世の中、人手不足倒産が多発するほど、景気はいいそうではないか。首相の肝入れで最低賃金も上がりつつなしと聞いているが……。庶民の懐は豊かなはず。さて」

「いえ、消費税率が10%に引き上げられて、庶民は財布の紐を締めていますから。その前に自力で2000万円の準備をしないと年金だけでは生きていけないそうです。一番、信心深いお年寄りたちのさい銭額が減っていますので」

「苦しいときの神頼みと言うじゃないか。うん……現実には勝てんかあ」

「それに……実はあ……、スマホを使ったキャッシュレス決済が普及しています。政府も2027年までに普及率を4割に引き上げようと躍起になっています」

「ほう、最近、よく耳にするキャッシュレス決済」

「ご存知ですか？ 若者たちの中には生まれてこのかた現金を見たことのない、持ったこともない者もいますから。電車、地下鉄やバスに乗車するための切符の意味が分からない、分かっているも券売機での買い方を知らないそうです。政府はコインの発行を停止し、紙幣の発行元である日本銀行も組織を廃止する方向で検討されています」

「なるほどお。世の中は、私が知らないところで進化していると。この神社も収入を増やすための対策を練らねば、いかんかな？」

「で、対策を提案したいのですが」宮司はニコッと笑みを浮かべた。

「提案？」

「はい。思い切って当神社もキャッシュレスさい銭を導入してはいかがでしょうか。いえ、新聞によると、すでに導入している同業者もい

るそうです」

「キャッシュレスさい銭？」

神様は顎に右手を当てて、天井を見つめたまま、しばし黙考します。

「さて、いかがなさいますか？」

しびれを切らした宮司は問いかけます。

「うん。うん。世の中の流れに沿ったいいアイデアではあると思うが……いくつか超えなければならぬハードルがある」

「どのような？」

「伝統的な慣例を破るわけだから、まず神社本庁、本山および神社協会からクレームがきそうだ」

「はあ」

「次に、スマホによる決済であれば、決済業者の手元に、誰がこの神社でいくらのさい銭を納付したかという情報が残ってしまう。これが第三者に洩れば、憲法が保障する信教の自由を侵害することになりうる。個人情報保護にも反する」

「なるほどお」

「もっとやっかいなことは、さい銭収入は宗教活動の一環として、これまで課税されていない」

「はい」

「しかし、決済業者に手数料を払うとなると、税務署からさい銭は収益事業とみなされかねない。国の財政も逼迫ひっ迫しているから取れるところから取るという」

「課税されると」

「そう。それ以外に、私個人にとって深刻すぎる問題もある」

「お神様ご自身の問題？ はて」

「私はあのチャリーンという音で目が覚めるのだよ」

「なるほどお。普段、参拝客はほとんどおらず、眠っていらつしやる時間が長いですから。ガランガランという鈴の音ではだめですか？ けっこう騒がしい音ですが。参拝者が神様を呼び寄せるために打つ2回の拍手の音も大きいですよね」

「だめ、だめだあ。どちらも子守唄のように聞きなれてしまっている。やはり、コインの落ちるチャリーンという音と紙幣がスツと落ちるあの音に勝るものはない。なので、スマホを使われては、覚醒かくせいレスになりかねない」

「目覚まし時計の代用になさっていると」

「うん。それにボケ防止にもなるんだ」

「はあ、ボケ防止？」

「納付されるさい銭の額を暗算で合計しているのだよ」

「暗算ですかあ？」

「そう。だからスマホじゃあ、計算（カリキュレーション）能力レスになつてしまうんだな」

（付記。朝日新聞、2019年9月3日参照。）

煩惱 ①

— 除夜の鐘が鳴っている。

ゴーン、ゴーン、……。

男K ヤツの場合は108じゃ、足りないよ。

煩惱 ②

— 除夜の鐘が鳴り止まない。

(八)

男M 誰が、撞ついているの？

男S ゴーンじゃない。

男K ゴーンだけじゃないよ！ 元の同僚もさ！

車中泊

先輩 女房と喧嘩して、今夜は帰宅できないよ。

後輩 そりゃあ、大変だ。会社のソファで寝るんですか？

先輩 いいや、マンションの駐車場だよ。

現代用語

警察 坊や、こんな時間までウロウロしてちゃいけないよ。迷子になつたのかい？

幼児 いいえ、帰宅難民です。

常就者

— 公務員が覚醒剤を使用して逮捕された。

薬（役）人だもの。

死に体

— 新旧監督の引継ぎ。

新 選手を育てるコツを教えてください。

旧 ああしろ、こうしろと口を出さずに、「草葉の陰から」そつと見

守るんだよ。

同世代内格差拡大

— 高等教育無償化。

高卒就業者 現役の納税義務者。親代わり。

対象大学生 勉学義務者？ 子息たち？

付度

総理が「あゝ」と言えば、官僚は「うん」と返す。

実態

— お金をかけているものは？

教授 M 書籍費だね。年間 80 万円ほどの本や雑誌を購入しているよ。

教授 A 交際費だ。とくに、飲み代で、年間 100 万円は下らん。若

い連中をつれて……。

— 大学の教員として楽しいことは？

教授 M 研究することと、学生たちと文学について議論することだよ。

教授 A 会議だ。嫌なヤツの意見を潰すんだ。

— 論文の成果は？

教授 M 海外のレフェリー付きジャーナルに公開しているよ。いくつ

か先行研究として使われている。グーグルスカラーで検索し

てごらん。

教授 A 紀要にしかな書けん。同人誌レベルだ。文句ある？

— 論文は何本くらい公開していますか？

教授 M 洋・和文を合わせると 120 本くらいだね。30 年も研究活動を

しているけど、まだ少ないね。

— 論文を書く目的は？

教授 M 世のため、他人のためになる知見を提供することだよ。研究

者としての社会的使命だからね。

教授 A 自分のため、昇格のために書いた。もう書かない。書いても

金にならん！

— 教師、研究者のいずれで呼ばれたいですか？

教授 M 研究者だね。もちろん教壇に立っているかぎりには教師でもい

いよ。

教授 A 教師？研究者？ 組織のもつと上の役職名……で呼ばれたい。

— 今、一番欲しいものはありますか？

教授 M 勉強をして論文を書くための時間だね。

教授 A だから、さらに上の役職……と金だ。

— 学生に期待することは？

教授 M 時間を有効に使って、勉強や趣味、スポーツなどで青春を謳

歌してください。

教授 A どうすればお手当ての支給される役職に就けるのか、を考え

ること。勉強よりも、錬金術を身に付けなさい。

— まるで蟻ソコの世界と同じじゃないですか？

教授 M わたしは働くこと、勉強が好きだよ。

教授 A 大学の教員だからって、教育や研究が好きだと思ふな！！

ノーコメント

記者 北（朝鮮）が、またミサイルを日本海へ向けて発射しました。
総理 そうですね。

記者 「総理、そうですね」はないでしょ。もし、日本本土に着弾して
いけば……。

総理 （笑）それはありえないでしょ。

記者 どうしてですか？

総理 北の目的は明確ですよ。

記者 アメリカへの威嚇いかくですか？

総理 違う。いいかい。北の本当の目的は近海をミサイルで埋めたて
ることだよ。領土を広げたいのさ。

相思相違

教授 2年間での修得単位数はゼロかい？ 講義には出席していた
の？

学生 はい。すべて出席してきました。

教授 じゃ、30単位くらいは取れたはずだよ。

学生 いいえ。大学が僕の能力に合わせてくれませんでしたから。

アンチノミー ①

総理 国民のみなさま、大型10連休中は心身ともにリフレッシュし、
ご家族と過ごす時間を持っていただきたい。

― 連休明け。

役所の窓口 離婚届が急増した。

アンチノミー ②

総理 国民のみなさま、大型10連休中は心身ともにリフレッシュし、
ご自分を見つめ直す時間を持っていただきたい。

― 連休明け。

会社員たち じっくり自分を見つめ直し、当社を辞職することに決め
ました。

退職者数が急増し、失業率はアップした。

アンチノミー ③

課長 大型10連休も終わったのに、なぜ連続して休暇を取るのかね？
社員 はい。休み疲れを解消するためです。

心配ご無用

記者 北（朝鮮）は慢性的な食料不足のようです。

総理 そんなことはないでしょ。

記者 どうして？

総理 ごらんなさい。あの肥満体を。

考える

教授 教えられることと、勉強とは違う。分かるかい？

学生 いいえ。

教授 勉強とは自分ですることだ。

学生 だから、どうすれば勉強できるのか、教えてくださいよ。

売り手市場

学長 受験生を増やす方策を出してくれ。

教員 A 受験科目を減らしましょう。

教員 B 受験料や授業料を減額しましょう。

教員 C 出身高校でも受験を認めましょう。

教員 D 受験会場への交通費と弁当を支給しましょう。

教員 E 受験記念品を差し上げましょう。

∴ ∴ ∴

学長 もっと斬新な方策はないのかね？

教員 F では、無試験にしましょう。

学長 それではあまりにも情けない。名案はないのか。

教員 G じゃ、高校生に教えてもらいましょう。

問答

禅師 ヤマと言えば、

男 川。

禅師 ヤマと言えば、

男 富士山。

禅師 ヤマと言えば、

男 トンネル。

禅師 ヤマと言えば、

男 炭鉱。

禅師 ヤマと言えば、

男 海。

禅師 ヤマと言えば、ヤマと言えば、ヤマと言えば、

男 ……？

禅師 ヤマト(大和)言えば、奈良だろ。鹿と覚えておけ。カッ！

評価

弟子 師匠、わたしの癖は、どうでしょうか？

師匠 効かない便秘薬と同じだ！

弟子 えっ？

師匠 下らん。

入り易く、出に難くする

教授 君、この成績じゃ卒業できないよ。

学生 えっ？ 僕は20分の面接試験に合格し、かつ4年間ちゃんと授業料を納付してきましたよ。

教授 もう1年、大学の財政に貢献して欲しいんだ。

納得

幼児 天国と地獄の話をしてあげようか？
 父親 うん。
 幼児 あの世。

改名

— 仏壇の戒名を見て。
 父親 これがおじいちゃんの名前だよ。
 子供 違うよ。こんなじゃなかった。
 父親 この世からあの世へ引越しをすると、名前も変わるんだよ。
 子供 ふくん。でも、もう変えないんですよ。
 父親 うん、変えない。どうして？
 子供 ○△居士（固持）って書いてあるもの。

不適格者

教授 公務員になりたいそうだね。
 学生 はい。絶対になりたいです。
 教授 公務員は誰のために働くのかな？
 学生 自分のためでしょ。
 教授 公務員は誰から給料をもらっているのかな？
 学生 役所からでしょ。

同類

教授 なぜ、公務員になりたいの？
 学生 民間じゃあ、^{ぜにかね} 銭金にうるさいじゃないですかあ。
 教授 公務員だって、^{ぜにかね} 財政が厳しくて……。
 学生 赤字でも、ボーナスも残業手当も支給されますよ。

脅し

学生 先生、卒業がかかっています。単位をください。でないと……。
 教授 でないと……。
 学生 この大学の留年率が上がって、受験界に悪いイメージを与えますよ。
 教授 足元を見てるな。
 学生 いいえ、目先を見てます。

平和とは

父親 もし、世界中の人間が同じ時刻に10秒間だけ、みんなで一斉に^{いっせいに}笑ったら、どうなる？
 子供 楽しいだろうね。

寄付

乞食 檀那だんな(旦那)、金を恵んでください。
男 ドナイシヨ (ドネーシヨン)

もやもや

教師 「割り切れない気持ち」って、分かるかい？
生徒 細かいことに気を使いきるってことでしょ。
教師 ほう。たとえば……。
生徒 7割3の余りをどこまで計算すればいいのか、とか。

嫉妬

男子生徒 A なぜ、髪を染めちゃいけないのですか？
校長 わたしはハゲだからです。
男子生徒 B なぜ、タバコを吸っちゃいけないのですか？
校長 わたしは禁煙しているからです。
女子生徒 S なぜ、お化粧をしちゃいけないのですか？
女性教員 わたしよりも美しくなるからです。
女子生徒 Y なぜ、妊娠してはいけないのですか？
女性教員 わたしには特定の男友達がいらないからです。
生徒たち こんな拘束には反対です！

得点圏

—ランナーが2塁へ盗塁しました。クロスプレーです。
塁審 アウト！
選手 セーフ！
観客 ヨイヨイヨイ！

就学

校長 本学ではアルバイトを禁止しています。
入学生 なぜ、ですか？
校長 兼業規則に違反しますから。

ゼネレーションギャップ

年寄り 若者にはハングリー精神が足りん！
若者 いいえ、若者の首吊り自殺は増えています。

超楽観視

男 S 少子化で、日本人の数がドンドン減っている。
男 M じゃあ、長生きしよう。
男 S なぜ？
男 M 絶滅危惧種に指定してくれそうだから。

予知力

先輩 なぜ、結婚しないの？
後輩 奥さんに時間を拘束されますから。
先輩 分かっているじゃん。

断捨離

妻 どれもこれも愛着があつて……。
夫 まず、一番大事にしている物を捨てればいいんだよ。

ご多不幸

学生 内定を3社からもらつて……。
教授 おめでとう。
学生 でも、どこにしようか迷っています。ノイローゼ気味です。
教授 それは不幸だ。

カツラ

ヤバイ！ ハゲの校長が来た。
ヅラ借ろう。

幸せの価値

(一四)

幸せを手に入れるにも若い頃はデフレだった。歳を取ると、より多くの金と体力が必要になる。インフレよー。

うけ狙い

— 前座の噺家。

お客様の中に、わたしを励ます小噺のできる方はいらっしゃいますか!?

開戦の回避

後輩 8月15日って？
先輩 終戦記念日じゃないか。
後輩 ああ、そうでしたね。
先輩 知らなくてもいい。でも、女房の誕生日だけは覚えておけよ。

定義

A君 盗撮って、了解をとらないまま、写真を撮ることだよな。
B君 勝手に、スマホでスカートの中を撮るとか。
A君 じゃあ、富士山や道端みちばたに咲く花を撮ると、これも富士山や花に了解を取っていないから、盗撮になるよね。
B君 でも、富士山も花も文句を言わないから。
A君 そっかあ、文句を言われて始めて盗撮になるんだ。
B君 だからあ、隠れて、そっつと、撮ればいいのさ。

拘り

夫 草は天氣の好いときに抜くものじゃない。抜かれないぞ！つて地面に噛み付いているだろ。

妻 じゃあ、いつ抜くの？

夫 雨上がリだ。

妻 どうして？

夫 酔っ払いと同じで、抜かれている意識がないから。

アイディア

女 A お宅のご主人、なにか趣味をお持ち？

女 B 退職後は陶芸に凝こっていて、お皿、ぐい飲み、お茶碗、どんぶり、湯のみ、を作っています。重宝してますよ。

女 A あら、でも、まだいいものが一つ残っているわよ。

女 B なーに？

女 A 骨壺こつぽ。

イ 恐示

男 Y やっぱ、カジノは稼げるわ。一回の賭けで200万円を手に入れた。へへへっ。

男 D そっかなあ？ 俺なんか、女房の生命保険を1回払い込んだだけ、すぐに1億5000万円を手に入れたぞ。アハハハッ。

順位

社員 G 俺は、会社ではナンバー3だけど、家では……。

社員 K 家では？

社員 G ……ナンバー2だあ。

使者

妻 今日、燃えないゴミの収集日かしら？

夫 うん。どうした？

妻 ゴミ箱の上の電線にカラスがいないもの。

誤解

男 A 昔の友人に逢ったら、有名な小説家になっていたよ。

男 B 俺の友人なんか俳人になったヤツもある。

男 A 死人しにん(詩人)と同じだな。

テンションのみ

オチのない新作落語を聞いた。なぜか、落ち着かない。もつとエンジ

ョイ(円丈)させろよー。

屁理屈

刑事 なぜ、強姦したんだ。
犯人 いや、彼女とは合意の上のことですよ。
刑事 強姦されたって泣き叫んでいたぞ。
犯人 だって、彼女、しばらく血を見たくないって言うから。

哀喜

老妻 認知症かしら。近ごろ、記憶力が落ちてきて。
老夫 しっかりしろよ。
老妻 たった2分前の出来事も忘れることがあるし。
老夫 じゃあ、小遣いを1年分、前金でくれ。

火消し役

消防隊長 遅い！こんなに燃えているのに、どこで油を売っていたんだ。もう、手遅れだ。
隊員 来る途中で喧嘩の仲裁をしましたから。仕事はしてますよ。

ビフォー・アフター

先輩 結婚すると、周りがよく見えようになる。
後輩 精神的に落ち着くってことですか。
先輩 女房よりも綺麗な女性はたくさんいることが分かるんだ。

A I

新婚K A I 診断によって、見つけた女性と結婚したよ。
既婚者 婚活がうまくいったんだね。おめでとう。新婚は楽しいだろ。
新婚K いや、もう愛のない生活だよ。

意味深いみしん

— 単身赴任を終えて、8年振りに帰国した。
男 空港内では、日本人の顔がどれも同じに見えたんだよね。
友人 よく、そう言うよね。日本人の顔は特徴がないから……。
男 でも、すぐに違いが分かったよ。
友人 どうして？
男 迎えにきた女房の顔を見てさ……。

電車ごっこ

— 先生が役割を決めますよ。
A ちゃんは運転士、
B ちゃんは車掌さん、
C ちゃんはお客さん、
• • •
先生、僕は？
H ちゃんは、痴漢だよ〜ん。

立ち位置

— 5月3日、憲法記念日。

「改憲反対！ 改憲反対！」

講師 先生、昨日、デモの先頭でプラカードを挙げて、行進してしましたね。テレビのニュースで観ましたよ。

教授 学問ではトップになれないからねえ。

責任回避

野党議員 総理、一国を代表するあなたの政策ミスで財政は火の車で

すぞ。どれほど国民は犠牲を払い、泣かされていることか。

この責任をどう取るのか？ お聞きしたい。

総理 そんな文学的な問題は分らんよ。

(付記。昭和天皇が戦争責任を問われたことへの回答。)

忘父

課長 君、年次有給休暇を使い切っているのに、なぜお盆休みを4日も取ったの？

社員 はい。死んだ親父の7回忌に出席するためでした。

課長 ほう。お盆だから、親父さんがあの世から帰ってきたんだな。

社員 はあ……？

課長 さきほど、親父さんから電話がかかってきたぞ。

兄弟の差

俺は欲しいものがあると、親に泣いてもお願いし、手に入れてきた。就職活動中の兄貴は泣いても、まだ内定がもらえていない。

転職

男J お前、また職を変えるのか。

男G まだ、天職に出会っていないんだ。

受信料

長男 僕は1チャンネルを観たい。

次男 いや、僕は4チャンネルを観る。

三男 だめだめ、8チャンネルを観るんだ。

母親 みんなー、元を取り返すためにNHKにしなさい。

靴選び

息子 お父さん。僕、スニーカーが欲しいんだ。

父親 じゃあ、お父さんがいいスニーカーを手に入れるコツを教えてくださいよう。

息子 うん。

父親 まず、気に入った色、サイズを選び、両足に履いてみる。しっかりとヒモを結んでから、踵に人差し指が入るくらいの余裕があ

るといい。

息子 うん、分かった。

父親 ここからが肝心だ。

息子 うん？

父親 そばに店員がいるかどうか……いればそのスニーカーはあきらめ

たほうがいい。

正直者

相談者 もしもし。電話相談室ですか。

回答者 はい。そうです。ご相談内容は？

相談者 試験になると、カンニングをしてバレてしまいます。

回答者 ほう。

相談者 その後、罪悪感で苦しく、睡眠不足になってしまつて……。

回答者 なるほどお。どうしたらカンニングをしない強い意志を持つ

るのか、そういうご相談ですね。

相談者 いいえ。どうしたらバレないようにできるか……。

入社試験

面接官 転職を5回もしてますね。

受験者 はい。

面接官 尻が軽いのかな。

受験者 いいえ、体重は90キロありますが。

面接官 体重じゃなくて。

受験者 ……でも、1回も自分から辞めたことはないです。

断交

労組委員長 社長、次年度の昇給をストップするという噂が流れてい

ますが、本当ですか。

社長 本当だ。人件費が会社の経費の6割を占めているから。

これを抑制しないと、この不況は乗り切れない。

労組委員長 しかし、抑制するものは他にもあるでしょ？

社長 そう、ある。あるんだ。扶養手当の財源を削減する方法

が。君たちも、ぜひ Condom でストップしてくれたまえ。

視線の先

—— 50年振りの同窓会。

杉本 どなたでしたかね？

本田 はい。本田です。

杉本 ああ、本田かー。懐かしいなー。

本田 あなたは？

杉本 俺、杉本、杉本だよ。

本田 おおー、杉本かー。いやー、懐かしいー。

杉本 本田、お前、年取ったな。

本田 杉本、お前こそ。

2人の視線はともに毛のない頭に向いていた。

後払い

父親 浦島太郎が乙姫様からもらった玉手箱には、なにが入っていたと思う。

幼児 白い煙でしょ？

父親 それが消えた後さ。

幼児 なにかなく？

父親 スナック竜宮城で飲み食いした請求書だよ。

必須事項

学生 先生、この書類のここにサインをしていただけませんか。

教授 ここは退学理由欄だよ。

学生 はい。ですから、先生のお名前が必要なのです。

外様

新学長 聞いてください。今は、みなさんたちは私が学外から選

ばれたことを不満に思っているでしょ？

教職員たち ……。

新学長 しかくし、私は信じている。みなさんたちがつくづく良

かったと思える日が来ることを。

教職員たち もちろんですよ。お辞めになるときは万歳三唱、胴上げ

で……。

玉数

— 高校野球、ピッチャーの球数制限たまかずが話題となっている。ベンチに入れるピッチャーの人数か？

理解不足

刑事 あなた、なん歳ですか。

男 はい。40歳です。

刑事 40歳？ 下半身を出して歩くのは、もう止めなさい。

男 いいえ、40にして惑わず。

刑事 惑わず？

男 60歳になるまで、止めません。

刑事 60歳まで？

男 60にして耳従う。

最悪

妻 DVDって、なに？

夫 DVが家庭内暴力で、夫が妻を殴ることだから……。

妻 Dが付いて、娘も加担して母親を殴るんだ。あく、怖く。

NHK

おばあちゃん おじいさん、NHKって、なんの略かしら？

おじいさん 居留守をしても、なん(N)度でも人(H)が受信料、金(K)を取りに来る放送局のことだ。

想像力

おばあちゃん おじいさん、SNSってなんのことですかねえ？
おじいさん ショウ(S)もナイ(N)シゴト(S)の略だろ。
おばあちゃん じゃあ、SMSは？
おじいちゃん 3人プレイのこと。

選択権

Y子 あなた、わたしのお尻に触ったでしょ。痴漢よ。
男 はい、すみません。魅力的な膨らみだったものですから、つい……。
H子 ちよつとお、あなた、わたしのお尻は避けたわね。これってセクハラよ。

鬼の居ぬ間に

—— 会議を連続3回、無断欠席した。
議案は「勤務評定について」だった。

確認物体

あー、UFOだあ。

ドローンと消えたー。

ドア

後輩 先輩、教えてください。
先輩 どうした？
後輩 彼女と喧嘩をして……、マンションのドアをいくら押しても開けてくれません。
先輩 じゃあ、引いてみるよ。

期待

小型ロケットの打ち上げ、またまた延期になった。
もうもう(MOMO)待てないよー。
(付記。2019年5月4日、午前5時45分に打ち上げは成功した。)

懐時代

あばあさん おじいさん、「加速するキャッシュレス時代」ってなんですかねえ？
おじいさん 現金でなくカードで買物をする時代になるってことさ。
おばあさん 配給切符？

不正論文

— 教授が論文を撤回。
重要な検証データを伏せていた。

ヘアドネーション

「あそこ」の毛じゃありません。

口は災いの元

首相が9条を口にするたびに、わが党は窮状に追い込まれている。

トランプ

面倒を起こすことは、切る前から分かっていた。

割引

子供 この机を買ってー。

父親 仕方ない。店主おやじ、この机を買いたいんだが、ちよつと高い。

店主 では、端数だけでも勉強させていただきます。

編集長 君の小説には転がない。

作家 どこですか？

できちゃった(おめでた)婚

— 式場。

司会 それでは新郎と妊婦の登場です。

毛違い

ただ今より、またのけ股野家、わきのけ脇野家の結婚披露宴を開催いたします。

倒錯

編集長 この文章とこの文章は明らかに盗作だな。

作家 えっ。逆さまですか？

順番

論より証拠。

親族より焼香。

野菜屋

客 大将、口で言うほど品物は良くないぞ。

店主 ウソ八百屋ですから。

全入・全卒時代

教授 小学校、中学校、高校、大学。このうち一番勉強が大変だったのはいつ？

学生 小学校です。国語や算数を一生懸命、勉強しました。

教授 大学じゃないのか？

学生 小・中・高で学んだ知識や能力はなくても、お金させ払えば、誰でも入学できて、卒業できますから。

誤診

— 認知症の診断を受けようと、妻を医者へ連れて行ってきた。

医者 どうもありません。心配ないですよ。

— 帰宅後。

夫 おい。さつきは、どこへ行ってきたのかな？

妻 忘れた。

貧乏性

ドーナツの穴、竹輪の穴、レンコンの穴、みんな塞いで欲しい。

絶滅危惧種

— 携帯電話、スマホの普及率、99.9%。

残り0.1%は俺のためにある。

NHKへ入社

先輩 就職先も決まったし、引越すから、テレビをやるよ。

K君 いえ、僕はラジオが好きですから、いりません。

先輩 やるつてえ。テレビだと映像も観えて楽しいぞ。

K君 いいえ。いりませんよー。

先輩 持つて行ってやるからあ。遠慮するな。

K君 うーん。そうですかあ。観ないと思うけど……。

— 3日後。ピンポーン。

客人 受信料の集金に伺いました。

防御用

— 職場にヘルメットが常備された。

社員T 大地震のとき、これで頭を守るのですね。

社員M いいや。賃上げ闘争をするときに被るんだ。

理解力

課長 A君、大至急、この書類を菱三商事へ届けてくれ。タクシーを

拾いなさい。

A君 承知しました。行ってきます。

∴

課長 もしもし、A君。まだ先方へは着かんのかね？

A君 タクシーが落ちていませんので、探しています。

犯行前？

C A 当機はまもなく日付変更線を越えます。お手元の時計の時刻を6時間遅らせてください。
護送犯人 刑事さん。その時刻なら、確かなアリバイがあります。

供養

— 亡くなったおじいちゃんの趣味は畑仕事。几帳面な性格で、生ゴミから腐葉土を作るほど、なんでも有効利用していた。
火葬場職員 これで、お骨揚げは終了いたしました。
遺族 この遺灰をいただけませんか？
職員 どうされますか？
遺族 畑に肥料として入れてあげます。

恐妻家

作家 ブラック・ユーモアとして軽率に活字化できないテーマもあります。
読者 そんなタブーがありますか？
作家 たとえば、皇室問題、身体的欠陥、人種差別や男女差別と……。
読者 と……、なにですか？
作家 女房の悪口。

責任回避

受験生 先生、この割り算と%の計算ができません。
数学教師 心配するな。大学で教えてくれる。
受験生 先生、この都市名の、稚内、っていう漢字が読めません。
国語教師 なに？ わっかないときは、スマホで検索しなさい。

メンズ

俺 あんなヤツよりも俺の方がイケメンだろ。
A子 なに、格好つけてるの？ 子供が生まれれば、ちゃんと面倒見してくれる？
俺 任せとけて。こう見えても俺は子供が好きなんだ。イクメンになるから。
A子 本当に？
俺 だから、結婚してくれよ。
A子 だめだめ、あなたはまだ仮メンよ。

改元

— 先輩が後輩に合コンを企画した。その会場で。
後輩 先輩！ 美人ばかりですなあ。もう、平静（平成）ではいられませんよ。絶対、彼女をゲットするぞー。
先輩 じゃあ、礼は（令和）、なにをもらおうかな？

読書

知者 知識となる。
愚者 睡眠薬となる。

比較考量

— 痴漢事件のニュース原稿を作成中。
A 氏 胸をもんだ。
B 氏 胸をまさぐった。
C 氏 胸に触った。
さて、どれにするかな？
これって、ド助平度を比べているようで……。

電光掲示板

— 平成から令和へ。いよいよ後、^{あと}10秒。
……9、8、7、6、……1……？
電源がダウンしました！

速すぎ

ウサイン・ボルトよ。そんなに急いで、どこへ行く。

元号

— 2019年5月1日、新元号に替わった。
T 君 良いことばかりがある時代になって欲しいね。
M 君 どうかなく。レイ（令≡ゼロ）和だから、良いこととそうでないことがトントンじゃないか。

競馬

— GIレースにも呼び名がある。
1月は、シンザン記念
2月は、中山記念
3月は、高松宮記念
・
・
・
8月は、終戦記念

家事代行サービス

— 母親が娘を叱っている。
「ミホ！ 大学生になったのだから、自分の部屋を掃除したり、洗濯も自分でしなさい」
しかし、娘は口答えるばかり。

「家で働いてもバイト代にならないもの。買いたいものがたくさんあるから講義のない曜日はバイトで忙しいのよ。稼ぎたいの」

「そんなこと言っていると、結婚してうちのようによく稼ぎになると、大変だぞ。今のうちに家事を覚えなさい」

「いいもん」ミホは平然と答えます。

― 日曜日。

「ウイーン、ウイーン」掃除機の音がうるさい。

「よし、リビングは完了。次は台所の掃除、それからアイロンがけ」

ミホはかいたいしく働いている。傍らで母親が目をほそめ、作業を眺めている。

遅く起きてきた父親は事情を知らず、驚いたようにミホへ声をかけた。

「どうした？ ミホ。あんなに嫌がっていた家事を始めるなんて……。バイトは辞めたのか。どう心境が変わったんだ？」

ミホは業界言葉で答えた。

「はい。ご主人様。バイトは辞めておりません。今も続けております。今日は奥様が依頼された〇×家事代行サービス社より派遣されてまいりました」

そう言うときミホは父親の顔をしっかりと見て、営業マンらしく愛想笑いをした。

自分探し

教授 大学を休学して、どうしていたの？

学生 はい。自分探しの旅に出ていました。

教授 で、どうだった？

学生 見つからなかったです。

教授 見つかるか！ 自分は探すもんじゃない。見つめるものだ。

髪

新調したカツラを着けて買物に出た。

突然、つむじ風がカツラをどこかへ吹き飛ばした。

ハゲじゃなく、神隠しにあった。

リス・トラ

就職は売り手市場で超し易かった。会社は自分たちを可愛いリスのよう扱ってくれた。

しかし、不況になると獐猛なトラになり解雇された。

暇

ネット上に店のホーム・ページを開設し、広告宣伝文を載せた。

が、いまだに客はドットコム (.com)。

算数嫌い

先生 1 + 1 は？

幼児 たくさん！

目的不適合者

学生 先生、大学の教員をしていることの目的はなんですか？
 教授 そりゃあ、君……、学部長……末は……学長……かな。
 学生 大学の教員って、世のため、他人のために研究をするのが目的
 ではないのですか？
 教授 研究？ ……なんだね、それ。

正解

学長 早期退職したい理由はなんですか？
 教授 3÷2の割り算もできない脳足リン学生を相手にするのが苦痛
 になったんです。
 学長 正しい決断ですよ。羨ましい。

プライド

学生 先生！なぜ、論文を書くのですか？ こだわるのですか？
 教授 教師と呼ばれたくないからだよ。
 学生 えーっ。
 教授 だって、わたしは研究者だよ。

3高

孫 おじいちゃん、昔は3高だったんだって？

高学歴、高収入、高身長。
 おじいちゃん 今も、3高のままだ。
 高血圧、高血糖、高コレステロール。

不老不死

父 これはわが家に伝わる秘伝の薬だ。蔵の中からやっと見つけた。
 子 どんな薬なの？
 父 うん。飲んだ時点での体力と能力を永久に維持することができ
 る。いわゆる不老不死の薬だよ。
 子 へーっ。すごいね！
 父 お前なら、いつ飲みたい？
 子 そうねえ。将来、結婚して子供が生まれて楽しい生活をしてい
 るときかな。
 父 そっかあ。人生で一番ハッピーなときだな。

— 次に、父は女房に訊いた。

女房 あなたと出会う前の20歳のころに飲みたかったわ。そうすれば
 ……。
 父 おいおい、そうすれば何だよ。
 女房 ご想像にお任せします。ふっふっふっ。
 — さらに父は病で寝たきりになっている老母にも訊いた。
 父 お母さんなら、いつ飲みたいですか？
 母 手遅れだよ。そんなもの飲みたいくない。この親不孝者め。ヒデ
 ー（ン）話じゃないかあ。

疑い

— 車を買い替えようと思い、自転車に乗って、近所にあるディーラーへ下見に行った。店員に訊かれた。「運転免許証はお持ちですよね？」

矛盾

教授 「……地球の温暖化を抑制するには、なにをおいてもCO₂を出さない、出るものを絶対に使わないことです……」
助手 先生、今日の講演は実に説得力がありましたよ。やはり環境学者はしゃべりもうまいですね。
教授 そうかい。へへへっ。ところで、君、帰りの足は？
助手 わたしはいつも地下鉄です。
教授 僕が送ってあげよう。SUV (Sport Utility Vehicle : スポーツ用多目的車) を買ったんだ。ハハハッ。

バッティング

親分 お前、プロの殺し屋だろ？ なぜ、殺らなかつたんだ。
子分 すみません。
親分 自慢、たらたら言ってたよな。3人くらい、バットで殺やるのは楽勝だって。
子分 はい。腕力は誰にも負けません。昔、甲子園球児で、右のスラッガーと呼ばれていました。へへへっ。

親分 このバカ！ それがなぜ、空振りするんだ。
子分 なぜって？ 親分、振り逃げセーフもありますから。

J R

J 君 昔、国鉄(日本国有鉄道)は赤字だった。字のごとく、国は金を失っていた。
R 君 その体質は今も変わらないよ。税あくるのみ。

会話

夫 ハシカが流行っているようだな。
妻 この町内の人たちは田舎へ避難してみたいよ。
夫 それでみんな留守(ウィールス)なのか。

地獄

社員 A ニュース、観た？
社員 K なにかあったの？
社員 A 歩行者天国で爆弾テロがあったらしいよ。歩行者が数人、死んだ。
社員 K これがほんとの歩行者、天国だな。

親子

父親 桃太郎は黍団子きびだんごを持って、鬼退治にいった。剛つよしなら、な

子供(剛) にを持っていく?
大豆かな。

計算違い

講師 先生、S君は7年かけてようやく卒業が決まりました。よかったです。
教授 残りの2単位を取得できたのかね?
講師 はい。わたしの科目で下駄を履かせて取得させました。
教授 もつたない。S君にはもう1年、この大学の資金源になって欲しかったんだが。

レストランにて

客 君! エスカルゴの特別料理、まだかね?
ウェイター すみません。あいつは足がめっぽう遅いものですから。

病院で

夫人 先生。これ以上、延命治療を続けても、医療費がかかるばかりです。主人には貯金も財産もありません。
医者 生命保険には加入されているのでしょ?
夫人 はっ、はい。
医者 では、心配ご無用です。

似たもの

K子 小説家養成講座って、ほんと、ひどいとこだよ。
M君 どうしたの?
K子 入会金はしつかり取るし、月謝も高いし。その上、役に立つことはなに一つ教えてくれないんだもの。夢を適えられるって、ウソばかり。
M君 そう。大学と似てるねえ。

変身

夫 お前。結婚20年目ともなると、ずい分、横着になったな。
妻 あら、そうかしら?
夫 いつもテレビの前で横になっているじゃないか。

満点

学生 先生、その計算間違ってますか?
教授 間違いの分かる君が出席しているのが、間違っているんだ。

カメラ

―― 偏差値40の大学。すべての教室に監視カメラが設置された。授業風景をチェックし、授業の改善に活かすためだそう。
真横に寝そべった学長はひっきりなしに切り替わるモニターを睨み

つけていた。

「ゲェ、ゲェ」

「ゆっくり息を吐いて、唾液は飲み込まないで、そのまま垂れ流してくださいね」

「まずは共通部門の数学。なんだ！ 分数の割り算？ 通分の仕方？ まるで小学校の算数の授業だな。本学の学生は、こんな計算もできんのか!? うーん」

「動かないでください」

「お次はと、会議ではいつも吠え立てる経済学部の迷惑教授の授業を拝見しよう。200人近い学生たちがいる。そのほとんどは下を向いて、スマホをいじっている。うーん、耳にワイヤレスイヤホンをつけて、スマホで音楽を聴いている学生もいるぞ。体を左右に揺すってリズムを取っている。窓側にいる学生たちはニタニタ笑っている。なに！ グループでゲームをしているのか？ 教授は黒板に板書をするのみで、学生を見ていない」

「ゲェ、ゲェ」

「ゆっくり息をしましょう」

「次は文学部の準教授。ゼミかあ。学生たちがゼミ室から逃亡し始めた。はっはっ。ゼミ生たちを追い出してるんだ。でもって、ゼミを非開講にしようという魂胆だな。週5コマのノルマを減らそうとして……うまく考えたな」

「おお、法学部の女性教員。法律問題を扱ったTV番組(四角い二角が丸く収めませ!)の録画を観せている。本人は机に突っ伏したまま寝ている。完璧なサボリだ。学生はモニターを観ないで、肩肘突いて、横を向いている」

「ゲェ、ゲェ」

「はっ、我慢ですよ」

「なっなんだー。この教室は。宗教学の講義か。学生たちは教室を出たり入ったりしている。若いから、宗教なんぞに興味もないわな。教授は学生に背中を向けて、天井を見つめたまま、しゃべっている。神も仏もあつたもんじゃない」

「ゲェ、ゲェ」。どの教室も父母には見せられん。学生も学生なら教師も教師だ。あゝあ、痛い、痛い、胃が痛い」

「ゲェ、ゲェ」

「肩の力を抜いて、ゆっくりゆっくり息を吐いてくださいね」

「ゲェ、ゲェ」

「もう少しで終わりますからね」

「ゲェ、ゲェ」

「はっ。カメラを出しますよ。はい。ご苦勞様でした」

「あゝあ。ふー」

「何ヶ所かに胃炎の痕がありますが、特に、気になさることはないです」

「先生。まだ、チクチクする所があるのですが」

「細かいことに気を遣い過ぎているかも……」

「はい。でも、まだ事務職員の勤務をチェックしてないものですから。こっちはもつとヒドイことに……。ヤツらは愛想だけいいから。無駄な残業も多いし」

「そういう組織の弱点をすべて飲み込むのも学長の職務でしょ」

「ええっ? 飲み込む? もうカメラは嫌ですよ」

残念な学び

— 大学1年生対象の少人数クラスでのこと。

「その君。起きて、話を聞きなさい。なぜ、寝ているんだ。大切なことを説明しているんだぞ」

教授は突っ伏している男子学生を指さして注意した。
顔を上げた学生は教授の方へ半分閉じた目を向けて言った。

「授業がおもしろくないです」

(授業の内容が易しすぎるのか? とときどき、そんな感想をくれる学生もいるが……)

「そうか。じゃあ、先週の復習をしてみよう」

教授は立ち上がって、黒板に、

$$D = -2P + 12$$

と、書いた。

「君。出てきて、この式をグラフに描いてくれるかい」

この一次関数を描かせてみた。ところが、よこ軸、たて軸がとれない。仕方ない。別の女子学生、Aさんに、

「ちよつと教えてあげてくれる?」

と、お願いした。

彼女は、さっと正しいグラフを描いた。

「君、これは先週、習ったことだぞ。授業がおもしろくないって言われても、この授業は基礎を学ぶことが目的だから。一次関数も描けなくて、おもしろくないはないだろ?」

教授はそう論じた。

大学へ入学して、2ヶ月後の6月。12人いる学生の学力差がはつきりと目に見えてしまう。このクラスには彼を含めて4人が中学生レベルの算数さえできないようだ。

腹立たしくなるのを堪えて、

「毎週、予習と復習をしているかい?」

(三〇)

と、問いかけてしまう。

予習や復習などしている訳がない。しなくても高校の教員からは注意されたことがないようだから。どだい、大学へ入学するまでに自分で勉強をする時間を持ったことがない学生たちである。教えられることが理解できないのだから、楽しい訳がない。いや、理解しようと努力しないのだから、理解できないのは当然だ。じゃあ、大学ではなにをするのか? 講義には出席するが、ワイヤレスイヤホンを耳にして、スマホの音楽を聴いている脳足リンもいるそう。後はアルバイトに精を出すのみ。学力じゃなくて、変な社会性だけ身に付けている。なので、態度は横柄で、口だけは達者である。この類の学生は大学で学ぶ必要などない。早く社会に出て、働くべきだし、十分に働ける、と思う。

「勉強することが楽しくなければ、大学なんて辞めて、働けばいいじゃないか? 大学は教えられるばかりじゃなくて、自分で勉強するところだぞ」

つい、パワハラ気味の本心を口にしてしまう。でも、学生をするためだけに高い授業料を払わされている親御さんのことを思えば、この言葉も親切である。

なにかを望んでいる訳じゃない。自分の潜在能力を高めるために大学へ入学してきた訳じゃない。周りのみんなが進学するから、親に言われたから、ひどい者だと高校の先生に言われたから来たと言言する学生もいる。自分の人生を自分で決められないのだ。だから、教えている側からすると、学ぶことをバカにしている姿勢に見えてしまう。

しかし、教室からは決して逃走できない学生たち。じゃあじゃあ、どうするんだ! この講義時間が過ぎるのを待っただけ。

こんな学生にもどこかで転機が訪れるのだろうか? そんな心配を

してあげることもないだろ、と自分を納得させる。

先ほどの、板書に戻ろう。

P は製品1個当りの価格、 D はその購入数量で需要量とも呼ぶ。いわゆる需要関数 $[D=f(P)]$ である。

この式を使って、さっきの男子学生に先週習ったことを復習させてみた。

「 $P \parallel 4$ のとき、よこ軸の D の値はいくらになる？」

彼は、20秒たつても答えない。いや、答えられない。時間の無駄だ。

別の B 君に尋ねた。

「いくらかな？」

「はい。4です」

「そうだね。どうやって求めたかな？」

「 D の式の P に4を代入しました」

「うん。そうだね。君、グラフのよこ軸に4と書き込みなさい。じゃあ、同じ要領で $P \parallel 3$ のとき、 D の値は」

15秒ほどかかったが、6と書き込んだ。

「じゃあ、 $P \parallel 1$ のときは」

8秒後くらいに、10と書き込んだ。スムーズにいかない。

「よし、いいよ。それじゃあ、先週、習った『需要の価格弾力性』の定義を書いてもらん」

これが書けない。チョークを持つ右手は下がったまま、黒板とにらめっこ。期待に満ちた数十秒がむなしく過ぎた。またまた時間の無駄だ。

女子学生 C さんを指名して、板書させた。

$$e = - \left(\frac{\Delta D}{\Delta P} \right) \cdot \frac{P}{D}$$

「そうだね。じゃ、今度は君、この定義式に当てはめて、 $P \parallel 4$ 、 D

$\parallel 4$ のときの弾力性を計算してもらん。少し時間をあげるから」

教室内は静寂な空気につつまれた。ほどなく、教授は声をかけた。

「おい。まだ、できないか？ 先週、私が同じ問題を解いたぞ。ノートを取って、復習しなさいって言ったよな」

男子学生はニヤニヤ笑うばかりである。

「じゃあ、その GAP の T シャツを着ている君、解いてくれるかい？」

教授は、 W 君を指名した。

彼は、

$$e = (-2) \cdot \frac{4}{4} = 2$$

事もなげに、さっと解いた。

「そうだね。弾力性は2。だから、1よりも大きいから、より弾力的って読む。価格の変化幅以上に購入量が変わること。先週、そう教えたぞ。同じ要領で、 $P \parallel 3$ 、 $D \parallel 6$ のときを解いてもらん」

教授は、ポカンとしている男子学生に指示した。チョークを持つ手が動かない。どうやら、 (-2) がどこから出てきた数値なのか分からないふうであった。

「傾きのマイナス2をどこで測ったのか教えてあげてくれる」

H 君を指名した。

「たて軸切片の6でよこ軸切片の12を割ると2となり、右下がりのグラフだからマイナスを付けます」

H 君は右手の指先でグラフをなぞってから、たて軸切片のところに

マイナス2と書き込んだ。

「あるいは、需要関数を P で微分 $\left(\frac{\Delta D}{\Delta P} \right)$ した値と同じになります」

「そうだね。じゃあ、君、これで計算できるだろ」

「そうだね。じゃあ、君、これで計算できるだろ」

男子学生は、 $\frac{1}{2} - (1 - 2) \cdot \frac{1}{10} = 1$ と計算した。

「そうだな。弾力性は1。価格の変化幅と購入量の変化幅が同じとなる。これを中立的と呼ぶ。先週、教えたぞ。それじゃあ、残った $P = 1$ 、 $D = 10$ のときは」

男子学生は、慎重にチョークを動かしながら、 $\frac{1}{2} - (1 - 2) \cdot \frac{1}{10} = 0.2$

と20秒かけて計算した。

「できたじゃないか。講義を理解する姿勢で聞けば、なんてことない計算だろ。中学生レベルの演算しかしてないからな。こんな計算や概念を使って、2年生からは専門の講義を聴くことになるんだよ。今、しっかり基礎を勉強しておかないと専門科目になると大変だぞ。寝てちゃあ、理解できないぞ。授業の内容がつまらんなんて言ったられないよな」

ヤバイと思ったのか、男子学生は神妙な顔付きをした。

「ところで、最後の0.2はどう読むのかな？」

教授はヒントを与え、あえて質問してみた。

「弾力性だから、価格の変化幅に対して購入量がどれだけ変化したか、という概念だから……すると、0.2だから……」

男子学生はしばらく黒板を睨みつけていたが、助けってくれという視線を教授に向けてきた。

「しょうがない。じゃ、Fさん。答えてくれるかい？」

「はい。より反応が鈍いということです」

そう答える彼女の声は一オクターブ高く聞こえた。

迷子

(三二)

「もしもし。警察ですか？」

「はい？ こちらは〇×署です」

「あゝあ、ルナが、ルナがいなくなってる」

「落ち着いて話してください。どうされましたか？」

「あゝあ、あゝあ。ルナ、ルナ。きつと誘拐されたんです。きつと」

「ルナ？ 誘拐ですか？ こちらの質問に、落ち着いて、ゆっくり答えてください」

「はゝ、はい」

「あなたの住所、氏名、電話番号を教えてください」

「はい。住所は△△……、氏名は〇〇……、電話は〇〇〇71……です」

「誘拐？ されたのはどなたですか？」

「女の子、2歳のルナです。とっても可愛いんです」

「いつ誘拐されたのですか？」

「今朝、10時ごろです。お散歩に行って、公園で遊んでいたときです。

足元で遊んでいたのに、わたしが奥様方とのおしゃべりに、つい夢中

になって……」

「いまは11時過ぎですから、1時間前ですね。お子さんに、なにか特徴

がありますか？ 髪型や服装とか？ 身長」

「はい。茶髪つぼくて、リボンを着けています。それからあ、赤と白

のチェック柄のベストを身に付けています。身長は50センチくらいで

す」

「茶髪、リボン、チェックのベストと50センチ、ですね？」

「はい。まだ、小さいんです」

「で、犯人と思われる人物から連絡はありましたか？」

「いいえ、まだないです。あゝあ、どうしましよう。きつと泣き叫んでいると思います。ルナがいけない人生なんて……」

「落ち着いてください。……気がつかないうちに公園の外に出て、迷ってしまつて、近所のお宅に保護されていることも考えられませんか？ 小さなお子さんですから」

「いいえ、ルナは臆病なのでそんな行動をとつたことはありません。2歳の女の子ですよ」

「分りました。では、署から担当の刑事をお宅に向わせますので、お待ちください」

「犯人に気づかれるとまずい、巡回パトじゃなく覆面パトにしよう」

「2歳の娘かあ。オシメも外れて、可愛い盛りですよねえ。犯人は、やはり金が目当てでしょうね」

「いや、この時代、金ではなくて、子供自体を欲しいという夫婦もいるからな」

「妊活で苦労している夫婦つてことですかねえ」

「うん……。おい！ あぶない！ 止めろ！」

「ああ。よかつたり。もう少しでひき殺すところだったです」

「捨て犬かあ？ 飼育放棄？ 車に乗せよう」^{としき}年嵩の刑事は小犬を拾い上げ、車に戻る。

「おい。ここだ。被害者宅だ」

「もしもし」

「はい。こちらは〇×署です」

「さきほど電話をした者ですが、いま自宅の前に黒塗りの車が止まり

ました。厳つい男が2人、車から出てきて……ああ、犯人が近づいてきます。どうしましよう？」

「犯人？ 落ち着いてください。絶対に玄関ドアを開けてはいけませんよ。武器をもっているかもしれないから。電話も対応しないでください。担当の刑事がそちらに、まもなく到着すると思いますので」

「はっ、はい」

「ピンポーン、ピンポーン」

「出ませんね」

「ピンポーン、ピンポーン」

「ちよつと電話をしてみろ」

「はい。ブルブルブルブル」

「出ません。留守ですかねえ？」若い刑事は、窓から部屋の中を覗くと背伸びする。

「確かに、この家のはずだが？ うーん、仕方ない。イタヅラ電話かもしれない。ときどきあるんだ。俺たちをコケにしやがって。署へ戻ろう」

「(小声で) もしもし」

「はい。こちらは〇×署です」

「(小声で) 犯人たちは、まだ玄関先にいます。部屋を覗こうとしています」

「落ち着いて、静かにしてください。もう少し、お待ちください。担当の刑事が向かっていますから」

「……はい。ああ、男たちが車に戻っていきます。ドアを開けて……」

「ああ。ナンバープレートの数字だけでも……」

「プープー」

「奥さん！ 外に出ると危険です。奥さん！」

という警告も耳に入らず、老婦人は、駆け寄ってくる小犬を抱き上げ、
「ルナ、ルナちゃん！ よかったねー。よく1人で帰って来られたね。
おりこうさんだねえ」

と、頬ずりした。

「ルナ？」振り返った刑事たちはキョトンとした目を互いに見合わせるばかりでした。

おわりに

拙稿のタイトル「ショート・チョット」から説明したい。

まずは、簡単な「チョット」とは、落語でいう「一分線香いちぶせんこう即席すまじ」の意味である。

次に「ショート」であるが、これは「ショートショート」の意味である。すこし加筆しよう。

言葉が発するイメージは想像力を鍛えてくれる。想像力はなにかを創る創造力へとつながる。「笑い」と「ユーモア」。「笑い」という平仮名混じりの漢字と「ユーモア」というカタカナから受けるイメージは違う。

「笑い」は「人間の表情であり、動作であり、外に表出したものである」(阿刀田、2019、p.26)

「ユーモア」とは「それ自体、外に現れるものではない。脳みその、ある傾向とでも言えばよい」……(筆者略)本来、人間の気質のことであった」そして「ユーモアの気質を具体的に外に現すのは……(筆

者略)ほとんどの場合、言葉である」(阿刀田、同上、p.28)

こう書くと、「笑い」と「ユーモア」とは元来、違う概念として理解されるかもしれない。が、その区別は必ずしも容易ではない。「ユーモア」→「まい言葉」→「笑い」(阿刀田、同上、p.28)という構造が見え隠れする場面が多々あるからである。あえて区別するならば、「表情をとまなう笑いに比べて人間の心の微妙さと関わるユーモアはもっと多様で、もっと広い」(阿刀田、同上、p.28)とでも言えようか。

しかし、「笑い」と「ユーモア」、それを誘発する要因には共通するものが多い。言葉のズレ、勘違い、無理解。これは落語、漫才、コントを観たり、聴いたり、読んだり、すれば気づく。また、興味や関心のある者にしか理解されない詭弁、皮肉も「笑い」と「ブラック・ユーモア」の生成要因の一つである。

この「笑い」と「ユーモア」を言葉、文字にしたものがショートショート、演じれば落語、漫才、コント、歌舞伎、狂言などの芸能にもなる。

こうした芸能を生業とする人間は法が幅を利かすところではそれに従順であるかのようなフリをするが、腹の底から服従することはない。法の尻馬に乗って人を裁く側には回らない(鷲田、2019、参照)。ちよつと格好よく言うのと、芸能人とか物書き(研究者も含む)とは、閉じようとしている世界を芸や言葉でこじ開け、思考の均質化を強いてくる社会に対して安易に同調することを拒み、そうした安易さから最も距離を置く表現者のことである。詭弁や皮肉を通して為政者を精いっぱい晒し飛ばしたり、茶化したりするのである。

さて、本稿のタイトルは「ショート・チョットの笑劇場」とした。その理由。「ショート」は「ショートショート」の意味を含む。この定義については、これまでたくさん議論されてきた。議論はその文字

数でみた「短さ」には留まらない。奇抜な発想、巧みな展開、意外な結末という条件を提唱する者。一瞬で人生を感じさせるもの、と主張する者。長編が長い棒であれば、短編はさらに短く切ったもので、ショートショートはその切り口。そこから長い棒を想像させることができるもの(井上、2002、p.466)。

筆者は、これらの多くを含んだものをショートショートとして捉えたい。その中でもショートショートの「命」は結末における「どんでん返し(ストンと落ちる)」にある、と考える。どんでん返った(ストンと落ちた)その瞬間、しっかり説明すればさほどの意味もないけれども、しかしそれなりに意味を持つ人生の一端が技の冴えと一緒に読み手の脳裏にフワッと湧き上がってくることを身上とする(阿刀田、1999、pp.108～109)。この意味で落語はショートショートに、ショートショートは落語に通じる、と言われることがある。ただし、読んだ後、しばし考えてから「なるほどお〜」という(落語でいうオチIIサゲを聞いた後で瞬間的な謎解きを必要とする)笑いやユーモアもある(落語では「考えオチ」という)ことからすれば、技の冴えのみで評価すべきではない(新井、2019、p.7)。

これは江戸川乱歩がG・K・チェスタトンの作品から読み取った「論理のアクロバット」を「奇妙な味」と評したことも関連する。「ストンと落ちる作品もいいが、読んだ後にモヤモヤした気持ちに襲われる作品には別種のよさがある。なにか釈然としないものが残り、いつまで経っても尾を引くのだ」(T・スタージョン、G・K・チェスタトン他、2017、p.377、およびp.272参照)。

したがって、「ショート・チョット」とは、一分線香即席噺からショートショートに満たない字数の小噺とでも理解していただければよい。小噺とはいえ、モチーフ(伝えたいこと)を読み取って欲しい。

参考文献

- 阿刀田高(1999)『アイデアを捜せ』文春文庫。
 阿刀田高(2019)『老いてこそユーモア』幻冬社新書。
 新井素子編(2019)『ショートショートドロップス』キノブックス。
 井上雅彦監修(2002)『異形コレクション 恐怖症』光文社文庫。
 織田正吉(2014)『笑いのこころ ユーモアのセンス』岩波現代文庫。
 中村明(2017)『日本語 笑いの技法辞典』岩波書店。
 T・スタージョン、G・K・チェスタトン他(中村融編)(2017)『夜の夢見の川』創元推理文庫。
 鷺田清一(2019)『折々のことば』朝日新聞、5月12日。
 ベルクソン(林達夫訳)(2018)『笑い』岩波文庫。

